

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	百貨店（営業管理担当）	・ゴールデンウィーク期間中もそれ以降も客の購買意欲は高い。また、目に見えて新型コロナウイルス新規感染者数が減少していることもあって、今後はクリアランスセール、お中元等において客の動きが活発になると予想される。
	◎	一般レストラン（経営者）	・景気は、国の新型コロナウイルス感染症対応次第で変動する。飽くまでも希望を込めた予想。
	○	商店街（事務局長）	・国内物価の上昇による消費萎縮の懸念はあるものの、新型コロナウイルスオミクロン株の収束に向けて、リベンジ消費に期待したい。
	○	商店街（代表者）	・様々なイベント等が再開し始めており、人の動きが活発になってきている。ただし、依然として遅い時間帯の人の動きは鈍く、厳しい状況が続いている。人の動きが活発になる季節を迎え、多少の期待感を持っている。
	○	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症収束の兆しがみえてきている。すぐに以前のように戻らないと思うが、今より悪くなることはないだろう。客足も販売量も、今後に期待したい。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・慶事の予約が少しずつ増えてきている。客は、ウクライナ情勢の影響で少し値上がりしているのは仕方がないと納得し、予約される。ゆっくりではあるが、回復傾向にあると感じる。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が薄れている現状が続くと、緩やかな回復になると思われる。
	○	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルス感染症の影響が一段落すると予想される。
	○	衣料品専門店（経営者）	・衣料品販売においては、新型コロナウイルスの影響が大きい。将来的には良くなると思うので、もう少し頑張りたい。
	○	乗用車販売業（営業担当）	・生産できないとの理由による受注停止は解消されていく予定となっている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・これから暑くなると飲料の販売数が伸び、お中元の売上等も期待でき、景気は良くなると思う。
	○	都市型ホテル（経営者）	・イベント復活やスポーツ大会等の開催に伴う宿泊予約、観光宿泊団体客の予約が好調である。一方、大規模宴会の予約の動きはまだみだである。
	○	旅行代理店（営業担当）	・県民割の延長や新Go To Travelへの期待、インバウンドの受入れ再開に向けた実証事業の開始など、業界として景気回復に期待できる。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着きつつあり、客の動きも回復傾向にある。
	○	観光遊園地（職員）	・過去2年間中止となっていたイベントの実施が決定した。
	○	美容室（経営者）	・結婚式やコンサート、祭事も増えて人前に出ることが多くなり、美容室の需要も高くなってきている。
	○	設計事務所（所長）	・企業がウィズコロナを意識した新商品の開発や、ITを活用した新会社設立といった動きが顕著になっている。
	□	商店街（代表者）	・県民割などで観光客がかなり訪れている印象を受ける。また、今年は夏祭り等のイベントも開催される予定で、ウィズコロナの状態が徐々に定着しているように思う。
	□	スーパー（店長）	・今後も値上げによる消費減退は回避できそうにない。
	□	スーパー（企画担当）	・値上げは当分続く模様なので、現状から余り変わらず推移すると予測している。
□	コンビニ（店長）	・今以上に良くなる理由が見当たらない。現状のまま、しばらく続くと思う。	
□	コンビニ（店長）	・高速道路の利用者、観光客も増えてきているため今後改善されると期待したいが、ゴールデンウィーク後の落ち込みや物価高などの影響で消費減退となる可能性もある。	
□	コンビニ（総務）	・商品単価の上昇は収まりそうになく、今後も続けば来客数の回復は簡単ではない。そういう状況下では良くなるとは考えられない。	
□	家電量販店（副店長）	・半導体不足の影響で商品の入荷状況が悪く、部材の高騰で新型モデルの販売単価が高くなるなど、全体の消費量が上がるのは期待できない。	

	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスやウクライナ侵攻などの問題が解決されない限り、良くはならない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新車の生産台数が伸びないと、現状のままと予想する。
	□	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産次第である。
	□	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	・このまま新型コロナウイルス感染症が落ち着けば改善の方向に向かうだろうが、物価上昇がマイナスに作用し、景気が良くなるとは考えにくい。
	□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響か、所得が減少した人が多いように思う。懐が寂しいと外食は控えるだろう。ましてや焼き肉店は難しい。
	□	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴ったプラス要因と、ウクライナ情勢の影響によるコスト上昇とが、綱引きをしている状態が続く。
	□	タクシー運転手	・例年、梅雨明けには客の動きが活発になって売上也増加するが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で閉店した飲食店も多いため、大きな期待はできない。
	□	通信会社（営業部長）	・販売は堅調だが、低価格帯の商品を選択するケースが増えている。
	□	通信会社（支店長）	・物価高の影響等が改善する見通しは立っていない。
	□	美容室（経営者）	・身近なところで新型コロナウイルス新規感染者数が増えているものの、警戒心が薄れているように感じる。
	▲	商店街（代表者）	・中心市街地の将来像が政策面で全く話題に上らない。民の活力には限界がある。官民一体となって取り組まない限り、現況では地域像も都市像もしばらく期待できるものがない。
	▲	スーパー（経営戦略）	・連休に合わせた動きは活発だったが、物価上昇が続いているため、今後は少し慎重になると予想する。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くと大型商業施設や外食へ客が流れる。
	▲	家電量販店（店員）	・引き続き公共料金や食料品、日用品の値上げが予定されていることに加え、入荷遅延による品薄も予想される。より厳しくなると思われる。
	▲	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、他の遊興に行動が向けられると予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価上昇による買い控えが続くと思う。
企業 動向 関連 (四国)	◎	食料品製造業（商品統括）	・食品業界では、原料輸入等の価格上昇のため利益面が圧迫されている。しかし、業務筋の回復が反映されつつあって、今後に期待が持てる状況となってきている。価格転嫁も受入れ側に比較的理解がある状況である。
	◎	繊維工業（経営者）	・観光地にある小売店には外国人観光客が戻っていないが、規制が緩和されれば外国人観光客が増えて一挙に商況が上向くと思われる。ただし、新疆ウイグル問題による原材料価格上昇や、コロナ禍での物流コスト増に加えて、最近ではウクライナ問題で世界的に資源価格が上昇してニューヨーク綿花相場も一段と高騰している。更なる価格転嫁は難しいところであり、この状況が続けば採算的に厳しいものとなる。
	◎	電気機械器具製造業（経理）	・ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染者の高止まり感はあるものの、ウイズコロナによる経済や社会活動が浸透しつつあり、改善の兆しを感じる。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・ウェットクリーナーの販売量には変化がない。新型コロナウイルスの感染拡大で除菌や掃除用のウェットクリーナー需要があるが、同業他社も増えており供給力も高い。4月にふた付きウェットクリーナーの製造工場を新設したので、その売行きに期待している。
	○	輸送業（経営者）	・マスコミの報道が世間の景況感に与える影響は大きいと、今の雰囲気が良い方向に変わるような情報発信が行われることを期待する。
	○	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によって、前年まで開催見送りとなっていた各種イベント等も今年度は開催されるケースが増えると思込まれる。
	○	金融業（副支店長）	・仕入価格の値上がり分を販売価格へ転嫁できる環境にあたり、売上が新型コロナウイルス感染前に近い水準まで回復している客もあつたりするので、景気は持ち直すと考える。

	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・円安や世界情勢の影響で輸入する原材料価格が大幅に高騰しており、先行きは不透明である。
	<input type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務部長）	・主要材料のスクラップ価格はピークを過ぎた感はあるが、依然高水準にある。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・景気は下降気味と思っている。企業、事業者はよく考えて経営を行っている。景気は悪いものの、全体的には変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況並びに世界的な景気停滞への懸念などが悪材料といえる。一方、リモートの活用やここ数年の本業が堅調で財務的に余裕があるなど耐性ができつつある。ここ数か月はこのまま推移すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・今のところ先が読めない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業）	・食品等を中心とした生活消費財の値上げが、消費者の購買意欲を鈍化させることを危惧している。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経理）	・海外向けの出荷計画については中国向けを中心に不透明な状態が続く。国内向けの出荷計画も低水準のままで、大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・希望的観測も含めて、悪くなっている今と変わらない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・イベント関係は小規模での開催が予定されており、やや回復傾向にある。しかし、ウクライナ情勢の影響による悪化が心配され、客先の販促計画も依然として低調になると予想される。総じて、余り変わらないとみる。
	<input type="checkbox"/>	税理士事務所	・新型コロナウイルスや戦争の影響は大きくない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注が若干悪く推移している。年内は契約残で受注は問題なく推移する見込みだが、来年の年明け以降の受注は不安を感じている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	化学工業（所長）	・今後も原油やナフサの価格動向が不透明となっている。夏頃がピークという見方もあることから若干、底を打った感を期待したい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルス感染防止策や各種政策の効果により、持ち直しの動きが続くことが期待される。一方、ウクライナ問題や中国の新型コロナウイルス新規感染者数のゼロ政策、原材料価格の上昇や調達環境の制約、各国の金融政策等、不透明な状況が深まっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（職員）	・国際情勢を受け青果物の生産から出荷に係る資材経費の値上がりが続いている。特に、肥料価格の値上がりは激しく、6～7月の改訂価格は、成分にもよるが現状に対し130～180%と大幅な値上げとなる見込みである。卸売価格への転嫁ができないなか、全農業者の農業所得は大幅に減少する。高齢者の離農の動きも加速すると予想する。
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・5月18日時点で、当地域の新型コロナウイルス3回目のワクチン接種率が51%以上となり、行動制限の撤廃もあいまって人々が戸外へ出やすくなった。新規求人も運輸業、郵便業、生活関連サービス業、娯楽業が前月比、前年同月比でかなり伸び、宿泊業、飲食サービス業の求人数も増加した。原油原材料の価格高騰、中国のロックダウンの影響は受けるが、人々の消費動向消費性向は停滞せず、上向きになるように思われる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・アフターコロナに向けた人材採用が増加すると思われる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業）	・ウクライナ情勢等による物流の停滞、物価上昇による商品の値上げが相次いでいる。今後は日常生活の購買意欲にも影響が現れ、景気は苦しい状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で低迷を続けており、派遣の需要は一定数あるものの増加は期待できない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・一部イベントなどで盛り返している部分を、飲食関連の低調によるマイナスが相殺してしまい、低いままキープになることを懸念している。観光、個人消費など伸びてほしい。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（所長）	・宿泊や観光、メイク系の求人数はまだ回復していない。もう少し時間が掛かると思う。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・物価上昇、原材料価格や燃料価格の上昇により、いろいろなところが少し厳しくなっているという声を聞く。

▲	求人情報誌（営業）	・人員が充足しないことや、各産業における原材料の値上げ等により、経営が圧迫される企業が増えると予想される。
▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・夏休みのアルバイト募集が増える時期ではあるが、逆に正社員などの募集は減少し、トータルでは若干の減少が予想される。
×	—	—